

## ばい煙発生施設の構造

工場、事業場における施設番号を通し番号で記載してください。  
(No1、No. 2...)

工場又は事業場における施設番号	No. 1	メーカー名、機種番号及び型式を記載してください。 例：〇〇製 炉煙突管式ボイラーA-1型	
名称及び型式	〇〇製 H-480G (炉煙筒管温水ボイラー)	設置届出の場合は、この欄は記載の必要はありません。 構造変更届出の場合は、ボイラーを当初に設置した日を記載してください。	
設置年月日	年 月 日		
着手予定年月日	平成〇〇年〇△月〇△日	工事を着手する日を記載してください。 原則的に届出の60日以上前となります。	
使用開始予定年月日	平成〇〇年〇×月〇×日	施設の使用を開始する予定日を記載してください。	
規 模	伝熱面積 (m <sup>2</sup> )	16.8	ボイラーのカタログ等の数値を記入してください。
	燃料の燃焼能力 (重油換算L/h)	81.1	ボイラーのカタログ等の数値を記入してください。 単位は、液体燃料はL/h、固体燃料はkg/h、 気体燃料はm <sup>3</sup> /hで記載し、重油換算量を カッコ書で記載してください。  ※ 重油換算量：燃料の種類によらず、 液体燃料1L、固体燃料1.6kg、気体燃料1、 6m <sup>3</sup> がそれぞれ重油1Lに換算されます。
	原料の処理能力 (t/h)		
	光格子面積又は羽口面断面積 (m <sup>2</sup> )		
	変圧器の定格容量 (kVA)		
	触媒に附着する炭素の燃焼能力 (kg/h)		
	焼却能力 (kg/h)		
	乾燥施設の容量 (m <sup>3</sup> )		
	電流容量 (kA)		
	ポンプの能力 (kW)		
合成・漂白・濃縮能力 (kg/h)			

- 備考 1 設置届出の場合には、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、大気汚染防止法施行令別表第1の中欄に掲げる施設の当該下欄に規定する項目について記載すること。
- 3 ばい煙発生施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本工業規格A4の大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いること。